

アルゴフロート用RINKO

ARO-FT/AROD-FT

DO

水温

仕様

測定項目/センサータイプ	DO	燐光式
水温	サーミスター	
測定範囲	DO	0~425 μ mol/L ^{※1} (0~200%飽和度)
水温		-3~45℃
分解能	DO	0.02 μ mol/L (0.01%) ^{※2}
水温		0.001℃
初期精度	DO	測定値の±2% または ±2 μ mol/L (1~30℃、0~120%)
水温		±0.01℃ (0~35℃)
繰り返し性	DO	ドリフト : 測定値の±5% or ±5.0 μ mol/L / 4,000,000サンプル以内 ^{※3} 水温依存性 : 測定値の±2% or ±2.0 μ mol/L以内 圧力依存性 : 測定値の±2% or ±2.0 μ mol/L以内 ^{※4}
63%応答速度 (25℃、標準値)	DO	≤1秒 (水中)
水温		≤1秒 (水中)
外部出力内容	DO(μ mol/L)、水温(℃)、AD値、LED照射時間	
通信周期	1秒	
プリヒート時間	5秒	
通信形態	RS-232C or UART (3.3Vlogic) ^{※5}	
通信速度	38,400bps	
電源	DC6~26V、標準DC12V	
消費電流 (12VDC使用時)	測定時:30mA以下 待機時:0.1mA以下	

概要

ARO-FT/AROD-FTは全世界の海洋観測に使用されているアルゴフロート用に開発されたセンサーです。アルゴフロートは一度投入されると最大5年程度は定期的に自動で鉛直観測するシステムで、ARO-FT/AROD-FTは高速応答を維持しつつ、長期安定に優れたセンサーです。通信形態はRS-232C/UARTに対応していますので、アルゴフロートに限らずAUV等の様々な観測機器に接続可能です。

ARO-FT
耐圧2,000m
水深仕様

AROD-FT
耐圧6,700m
水深仕様

渦相関法用DO計

DO

水温

RINKO-EC

ARO-EC

概要

RINKO-ECは検出部先端の細径化を実現し、RINKOの最大の特徴である高速応答(90%応答0.5秒)DO膜と組み合わせることで、渦相関測定用に最適な設計となっています。本体はチタン製で、小型でありながら堅牢性を有しています。DO検出膜は連続200時間の測定が可能であり、ユーザーで交換、校正することができますので、メンテナンス性に優れています。



写真のコネクターは
Impulse社製です
(現行品は
SubConn社製です)

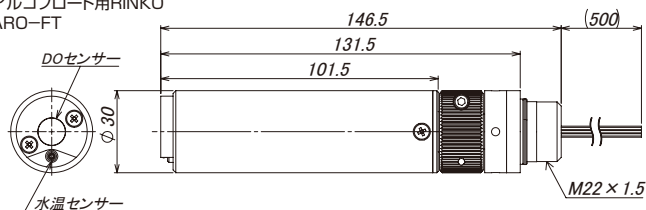
仕様

モデル名	RINKO-EC	
型式	ARO-EC	
測定項目/センサータイプ	DO	燐光式
水温	サーミスター	
測定範囲	DO	0~200%
水温		-3~45℃
精度/繰り返し性	DO 繰り返し性	±0.5%FS ^{※1}
水温 精度		±0.02℃ (3~31℃)
90%応答速度(物理量換算時) (空気中⇄水中at25℃)	DO	≤0.5秒
水温		≤0.5秒
DO膜寿命	200時間(連続使用)	
外部出力	アナログ電圧(0~5V)	
プリヒート時間	5秒	
電源	DC12~24V	
消費電流(DC12V供給時)	20mA以下	
材質	チタン2種	
寸法	φ54mm×341mm(コネクター部分含まず)	
質量	空中約0.6kg/水中重量約0.3kg	
耐圧性能	50m水深相当	
コネクター仕様 ^{※2}	MCBH8M	

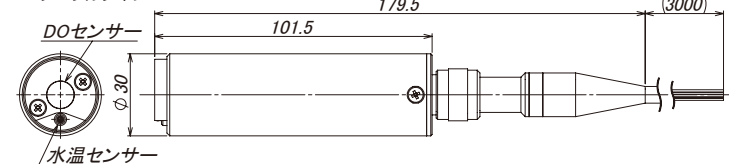
※1 より正確なDO値取得のためには、測定前にゼロ、スパンの2点校正を推奨します。
※2 接続用ケーブル(信号ケーブル)は、お客様でご準備ください。

寸法図

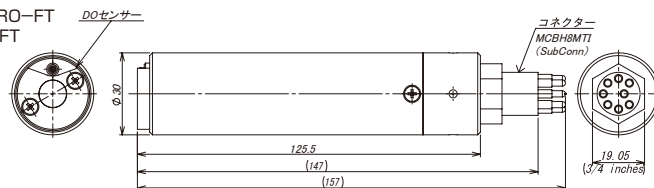
アルゴフロート用RINKO
ARO-FT



S-14ケーブルタイプ



深海用ARO-FT
AROD-FT



渦相関法用DO計
ARO-EC

